

2005年5月17日
ニューヨーク日本人学校
PTA会長 足立高德
PTA 常任委員会

アンケートのお願い

拝啓 春風若葉にかおる候、PTA 会員みなさまにあらまはしては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

みなさまご承知のとおり、現在、ニューヨーク日本人学校の校舎売却リースバックの契約交渉は、日本教育審議会のタスクフォース委員会によって、相手校との間で着々と進められています。最近その委員会で、私たちの子供たちの安全に直接つながる「校舎の共用」についての議論があり、そのなかで登喜校長先生が校舎の共用を避けるように論陣を張っておられます。

相手校は交渉の中で本校の理科室と図工室の設備を使うことを希望されています。これらの設備と教室は、他に音楽室、技術室とともに同一の建物にあるのですが、日本人学校の生徒も使用するので、結果的にこれらの設備と建物をふたつの学校の生徒が共用するということになります。これについて、校長先生は一貫して以下のふたつの理由をあげてこうした共用を避けてほしいとタスクフォース委員会で発言されてきています：

1. 不審者の侵入

たとえば先方の生徒が使っているときに、日本人が同じ建物に侵入した場合、たとえその日本人が学校とは無関係な不審者であったとしても、彼らはそれを知ることができません。逆ももちろんあるでしょう。

2. 子供同士の喧嘩

たとえ日本人の子供同士であっても、喧嘩の仲裁は容易ではありません。これがもし文化も言葉も違う子供同士であったなら、いったい誰がそれを仲裁できるでしょう？また誰がそれに責任を持てるでしょう？これらは訴訟問題に発展し大きなコスト負担となる可能性もあります。

学校の管理責任者としての校長先生のこうした意見に対して、タスクフォースの他の委員の方々は、1)に関してはなんらかのセキュリティシステムの導入を、また2)に関しては共同運営委員会の設置等は考慮する余地があるとしても、学校の赤字対策には先方の要求を呑んで校舎を共用するしかないと強く主張され、日常的なトラブルにはそれでは対処できないと唯一人で反対される校長先生に対して、もっと強い反対理由もしくは具体例を出すよう求めています。

私たちPTA役員はこうした実情を前に、日々の子供たちの安全を第一に考えようとされる校長先生をバックアップしたいと考え、会員みなさまのご協力をお願いすることにいたしました。たとえ経済的理由があろうとも、私たちの大切な子供たちの安全を守ろうという行為に躊躇があってはならないと考えるからです。

子供たちの安全は、私たち保護者が等しく第一に重要なことだと認識していると思います。客観的に見て、現時点で売却案件そのものを白紙に戻すことはほとんど不可能でしょうが、可能な限り校長先生の主張をバックアップして、子供たちの安全を確保したいと考えます。この考えに賛同していただける方はアンケート用紙の「校舎の共用に反対する」を選んで頂き、明日5月18日にご提出ください。ご記名については任意とさせていただきますが、お子様の学年は必ずご記入いただきますようお願いいたします。提出方法については、初等部玄関に回収箱を設置しますので、登校時に入れていただくよう、お子様にお話してください。常任委員会ではこのアンケートの結果を取りまとめ、保護者の意見としてタスクフォース委員会に提出いたします。

(回収日が翌日となっておりますが、ご協力をお願い致します。)

ご多忙中のところを恐縮に存じますが、何卒ご協力をお願いいたします。

敬具

ニューヨーク日本人学校校舎売却リースバックに関わるアンケート

日付：

保護者ご芳名：

お子様のお名前と学年：

どちらかに○をつけてください：

校舎の共用に反対する 校舎の共用を認める

その他、共用に反対する理由等具体例をいただけると幸いです：